

会 議 録

(嬉野市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	第1回 嬉野市障がい者計画策定審議会		
開催日時	平成29年1月27日(金) 13:30~15:00		
開催場所	嬉野市役所(嬉野庁舎) 1-1会議室		
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	山下俊一委員、中山逸男委員、古川信子委員、 矢川雄一郎委員、中野哲也委員、	
	事務局	福祉課長、福祉課副課長、福祉課係員	
	その他	織田智海委員(欠席)	
会議の議題	別紙のとおり		
配布資料	第3次嬉野市障がい者福祉計画 計画策定の趣旨と方法について 障がいのある人の生活や施策に関するアンケート(案) 第3次嬉野市障がい者福祉計画 関係団体ヒアリング実施要領(案) 第3次嬉野市障がい者福祉計画 課題把握のための調査票(案)		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の会議の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	1 障がい者福祉計画について		
内 容	別紙のとおり		
審議経過	<p>○協議内容</p> <p>委嘱状の交付、部長のあいさつ、会長および副会長の選出ならびあいさつ、委員ならびに事務局の自己紹介が行われた。</p> <p>会長の議事進行で、事務局より、配布資料を使用しながら、障がい者福祉計画の策定趣旨と方法について説明を行った。</p> <p>事務局から説明に対し、以下のような質疑応答が行われた。</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、育成会の研修会で、市の方から現計画である第2次障がい者福祉計画について説明してもらったことがある。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間を6年間としたいとの説明だったが、制度上問題はないのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間について法的な規定はなく、特に問題はないと判断している。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉計画と障がい福祉計画を一緒に策定していくことになるが、そうすると事務局での調査や資料作りなどの準備作業が大変にならないか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの計画は、調査についても共通することが多いので、結果的には、より合理的に作業を進めることができるのではないかと考えている。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体ヒアリングについて、総会や役員会のときなどに、来てい 		

	<p>ただけると助かる。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者アンケートの回収率は、どの程度になると見込んでいるのか。また、在宅の人たちを対象にした設問になっていると思うが、施設入所者などらの回答も含まれるとすれば、そこからの回答の影響も出てくると思う。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標は50%と考えている。また、2,100名に調査票を配付するが、嬉野市が把握している障害者手帳所持者のほぼ全員が対象となる。団体に所属されている方には、アンケートへの協力について、お知らせいただきたい。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に住んでいる人たちを対象としたアンケートになると思うが、相談先に関する設問や情報の入手先に関し、その選択肢として、療育支援センターや障害者就業・生活支援センター、地域活動支援センターなど、嬉野市ではあまり耳にしたことがないようなところも含まれているように思う。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者就業・生活支援センターと地域活動支援センターについて、私たちの法人で実施させてもらっている。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育支援センターについては、市内にはないが、市内の人たちも利用可能なセンターがある。また、市内に所在しておらず、嬉野市出身で市外の施設に入所している人も調査対象者となる。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査票のなかに、あんしんサポートについて、解説が記載されているが、同様に、他のサービスのことやそれを提供する事業所、さらに、避難場所についても、場所などを記載しておいてもらおうと、ごちゃごちゃするかもしれないけど、わかりやすいのではないだろうか。このことは以前から言っているのだが、市報などを利用して、障がいのある人たちの支援について、広く周知してもらいたい。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをやった結果として、情報提供のより一層の充実を求める声が高いとすれば、そのようなことに対し、答えを出していくことを考えていかないと思う。今は調査をする前で、まだ見えない状態ではないか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別のサービスの案内については、それらを提供している事業所な
--	---

	<p>どの紹介など、別途パンフレットを作成し、広報していくことを予定している。委員ご指摘の点も十分に理解できるが、そのことを調査票のなかに盛り込んでいくとボリュームが大きくなり、回答する人が大きな負担となってしまうかもしれない。</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙のちょっと見づらいうように思う。ルビが振ってあることもその理由かもしれない。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルビについては、障害者差別解消法の施行もあり、合理的配慮として実施していくことが望ましいと考えている。また、ルビについては、前に一度出てきたなど理由で、部分的なものにするのではなく、繰り返しの言葉であっても、すべてにルビを振っていくことが読み手にはわかりやすいと考える。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルビのことに限らず、書体やフォントの大きさ、行間などについて工夫してもらいたい。調査票本編はこれでもいいのだが、表紙だけはちょっと検討してもらいたい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・了解。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいの人については含まれるのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいのある人で、精神障害福祉手帳の所持者であれば、アンケートが送付されることになる。また、発達障がいのある人のことについては、関係団体ヒアリングのグループインタビューで対応していくことも考えている。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別についての設問で、「戸籍上の性別」となっているが、このような表現が望ましいのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LGBT の関する関心が高まっているなか、場合によっては逆におかしいのでは指摘されることもあるが、ここではこのような表現を提案させてもらった。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢についても満年齢の形で尋ねているが、単に年齢でいいのではないか。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそもの話として、性別なり年齢のことが、アンケートのなかで、そんなに影響があることとはあまり思えないのだが。
--	--

	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たしかに、この種の社会調査では、いわば慣例的に回答者の属性として性別や年齢を回答してもらってきたが、今後将来的には、性差別や年齢差別を助長するのではとの観点から、このような属性を尋ねることがなくなってくるかもしれない。ここでの協議の結果として、このような属性はカットしていこうということであっても、調査分析のうえでは特段問題はないと思うが、市が実施する他の調査との整合もあるので、そこには配慮していかなければならないと考える。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別については「戸籍上の」を、年齢について「満」を削除することでどうだろうか。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのような形でいいと思う。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのような形で整理していきたい。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計資料についても整理していくのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご理解のとおり。統計資料も整理し、計画のなかに盛り込んでいくことになる。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題把握調査では、記述式の調査票に答えることになっているが、選択肢を示して、それに回答してもらおうという形式は取れないだろうか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職を対象として課題把握調査については、単に「はい」「いいえ」だけでは表現が難しい、回答者の思いを回答いただき整理していく質的調査を行いたいと考えている。忙しいなか恐縮ですが、ご理解ご対応いただけると助かる。 <p>最後に事務局より、今後のスケジュールと次回審議会についての説明があり、本審議会は終了した。</p>
--	--